

競技規則（ローカルルール）

(公社)日本トライアスロン連合(JTU)競技規則 2019年改訂版及び同連合感染拡大防止対策ガイドラインを基本とし、大会ローカルルールを制定して実施します。ルールを理解して競技に参加して下さい。

競技規則に違反した場合は、指導、タイムペナルティ又は失格の対象になります。

・JTU 競技規則：http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf



・JTU COVID-19 感染拡大防止対策ガイドライン

https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/05/covid-19_event_guideline_20220529.pdf

競技全般

- スポーツマンシップを守り、マナー良く競技に参加してください。
危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象になります。
- オンライン競技説明会には必ず参加される全ての選手(リレーは全員)、パラトライアスロンでは、ガイドも受講し、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解して競技に参加してください。
競技規則（ローカルルール）に変更が生じた場合は、この競技説明会での説明の内容が最終となります。
- **オンライン競技説明会を受講し、ウェブテストを受けなかった選手は出場できません。**また、大会当日の来場をお断りします。
- 大会実行委員会は、当日の気象条件等で競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。
- 大会日程で決められた時間を厳守してください。遅刻した場合競技に参加できなくなります。また、やむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は、大会本部より公式掲示板及び放送で告知しますのでお見逃しの無いようお願いいたします。
- ペナルティの適用は、大会本部の公式掲示板で告知します。
ペナルティは、違反が認められた時に審判員からイエローカード、ホイッスルなどを用いてその選手に通告します。ただし、これが行われることを必須条件とはしません。
- 原則としてタイムペナルティの対象者には、ランコース上のペナルティボックスでタイムペナルティを科します。
ペナルティボックスにペナルティボードを設置し告知します。自らペナルティボードを確認してボックスに入り審判員の指示に従ってください。入らずフィニッシュした場合、失格になります。
※**ペナルティボックス担当審判がレースナンバーを読み取って声をかけることはできません。**
- 計測はアンクルバンドで行います。アンクルバンドは大会当日選手受付で配布、フィニッシュ地点で回収します。
- 競技途中でリタイアする場合は、審判員(審判員オフィシャルウェア着用)まで届け出てアンクルバンドを返却してください。アンクルバンドを持ったまま競技コース内の通行や、計測テント付近に近寄らない様にご注意ください。
リタイアした選手は公民館及び芝生広場に戻ってください。ただし、リタイア後も**競技全体が完全に終了するまで会場から出られません。**
- レースナンバーカードの取り付けは裸足で走る環境があるため、安全ピンの使用は禁止です。
- **レースナンバーベルトの使用を推奨します。**ウェアに取り付ける場合、四隅をしっかりと留めて下さい。
バイク競技時には後/背側、ラン競技時には前/胸側から容易に確認できる様に使用してください。レースナンバーカードの変造、折込はペナルティの対象となります。
競技中にレースナンバーをつけていない、またはがれている場合や、まくれ上がっている場合、前後逆な場合は、その場で静止させ正しく直す指示をする場合があります。
- **携帯電話、スマートフォン等の通信機能を持つ機器、ならびにヘッドホン等のオーディオ機器の競技中の使用、競技中のビデオ又はカメラでの撮影は禁止します。**失格とします。(DSQ)

- 腕時計、心拍計測器、サイクルメーター（GPS 式を含む）の使用は認めます。（スマートフォン等の使用は禁止）
- 前開き及び前ファスナー付きウェアの使用は、ローカルルールにより許可しますが、必ずファスナーを閉じて競技をして下さい。
- 各種目の制限時間をこえて競技を続行する事はできません。
- 選手以外はスイム招集エリア、トランジション及びコース内に入ることができません。選手の保護者、付添いの方については沿道からの応援をお願いします。
- スタート前の選手、フィニッシュ後の選手、付き添い及び応援者は必ずマスクの着用をお願いします。また、声をあげての応援は禁止します。
- 感染症の拡大状況によっては無観客開催になる場合があります。応援者の来場及び会場への立ち入りを禁止する場合があります。発表は大会ウェブサイトまたは兵庫県トライアスロン協会ウェブサイトで行います。

スイム競技

- 参加選手は、大会支給のスイムキャップを着用してください。
- ウェットスーツの着用を推奨します。大会本部公式掲示板に水温を掲示しています。
- 試泳は指定の時間にスタート地点から入水して退水口までの間で退水口からあがります。
- スイム招集エリアに指定の時間にお集まりください。全員で準備運動とストレッチ運動を約5分間行います。招集エリアに向かう前にトイレと給水をしてください。
- スタートエリアへの移動は、スイムキャップ色ごとに誘導します。
- スタート位置は、島の東側から入水し、ローリングスタートです。
トライアスロンは、2周回、パラトライアスロン、1周回で、時計(右)回りです。
周回は、橋の下を通過してそのまま2周回します。
- 競技中、周回数などの質問にはお答えできません。
- 審判員及びライフセーバーは安全上、競技続行が出来ないと判断した場合は、制限時間内であってもリタイア宣告します。(DNF)
1周回を最終選手のスタートから25分以上（パラは30分以上）かかっている選手および、最終選手のスタートから60分後に水中にいる選手は、競技を中止していただきます。これはチップ計測による制限時間とは別の安全上の措置です。審判員・ライフセーバーの指示に従ってください。
- 体調が万全でない時には勇気を持って参加を辞退しましょう。
スイム競技を行わないでバイクから競技を行うスイムスキップができます。受付時に大会本部に申告してください。ただし、スキップは完走にはならず、参考記録となります。
- ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍計測器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用を禁止します。
- 「レスチューブ」の使用を認めます。ただし膨張させた場合はリタイア扱いとなります(DNF)。
- 競技中、ブイやコースロープにつかまり、休むことは認めますがロープを使って進むことは禁止します。また、ライフセーバーのボードとチューブ及び監視ボートにつかまるとはリタイアの意思表示とします。

バイク競技

- バイクコースは、西長町～北条鉄道播磨横田駅を折り返す周回コースを、トライアスロンは6周回、パラトライアスロンは3周回した後、フィニッシュへ向かうコースになりました。
- 折り返し地点手前と、バイク降車ライン手前及び各交差点は追越し禁止区間です。充分減速してください。
- バイクコースは、左側を走行してください。(キープレフト)
- 追越しは、後方に注意して、声をかけてから右側から速やかに追越してください。

- ドラフティング走行は禁止します。2 回目のドラフティング違反で失格になります (DSQ)
- 周回数の質問には、お答えできません。
- ペットボトルは、バイクから落下する可能性があるので使用禁止です。トランジヨンで発見した場合、審判員が通告することなく回収します。

ラン競技

- ランコースは、善防中学校、善防公民館を含めた皿池・善防池の周囲を走ります。
- 反時計廻り（左廻り）で左側通行してください。
- フィニッシュへの最終の周回は、公民館駐車場手前からフィニッシュゲートに向かいます。
- ランコースは一部にガードレール内の歩道を走行します。道幅が狭い箇所は無理な追い越しをしないようにしてください。
- フィニッシュした選手は、すべての競技終了まで芝生広場及び善防公民館施設の指定された場所から出ることが出来ません。ソーシャルディスタンスを確保して待機をお願いします。他の選手の応援には戻れません。
- フィニッシュでは本人確認のため、サングラスを外し、レースナンバーカードが前方から確認できる姿勢でフィニッシュゲートを通過してください。

トランジヨンエリア

- バイクラックに各自のレースナンバーを表示した位置（ナンバーシールを中央にして幅 90cm 以内）がその選手のスペースです。
- バイクラックのレースナンバーが読める側から見て手前（通路側）にハンドルがくる様に、バイクラックにバイクのサドル部分を掛けて設置してください。
- 各自のスペース内の地面に置くことができるものは、バイクシューズおよびランシューズは各 1 足、ヘルメットおよび支給品のトランジヨン袋。ウェットスーツ用袋
それ以外の用具、ウェットスーツ、ゴーグル、キャップ、タオルなどは全て支給のトランジヨン袋かウェットスーツ用袋に収納してください。（使用後も収納すること）収納違反はタイムペナルティとします。風で飛ばしてしまわないよう工夫してください。
- ただし、次の場合はトランジヨン袋に収納しない事も認めます。
 - ・バイクに取付けたサドルバックなどに収納の物。
 - ・シューズの中に押し込んだソックスなど
 - ・ヘルメット内にはみ出さない様に入れたサングラスなどの小物。
 - ・バイクに掛けたレースナンバーが付いたベルト
- トランジヨンの各自のスペースの地面に置く事が禁止される物の例
 - ・支給品以外のトランジヨン袋やビニール袋、カゴ、バックなど
 - ・タオル、給水用ボトル、補給食、修理工具、予備タイヤ、ウェットスーツ、ゴーグル、キャップ、サングラス、グローブなど上記の物は確認次第、危険防止のため審判員の判断で撤去します。
- ヘルメットは、ストラップを外した状態で地面またはバイクハンドル上に置いてください。
- ヘルメットは、被ってストラップを締めてからバイクをバイクラックから外すこと。
また、バイクフィニッシュ後は、バイクをバイクラックに掛けてから、ヘルメットを脱ぐこと。
- トランジヨンエリア内は、バイク乗車禁止です。乗車ラインまで、手で押して行ってください。
- バイク乗車ライン(青のパンチカーペット)を越えた後に完全に片足が地面についてから乗車してください。
- バイク降車ライン（赤のパンチカーペット）手前の地面に片足が完全に付いてから降車し、バイクラックまで手で押

してください。

- スタート前の選手のトランジションエリアへの立ち入りは、レースナンバーを着用しスタッフの指示に従ってください。
- 競技を終了した選手のトランジションエリアへの立ち入りは、指定の時間内に感染症対策のため人数制限をしながら行いますのでスタッフの指示に従ってください。
- 競技終了後のバイク・荷物の引取り、持ち出し時はレースナンバーを必ず持参してスタッフの指示に従って決められた時間内に行ってください。

その他

- 記録証（完走証）は、後日ウェブ（大会HP内のリンク）から入手、印刷できます。大会会場での配布はありません。
- 速報記録を大会会場の公式掲示板に掲示する予定ですが、感染症の拡大状況により変更になる可能性があります。
- 公式記録表は、後日大会オフィシャルホームページ等に掲載します。
- 施設の利用は注意案内に従って行き、また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 貴重品は、善防公民館事務室にて預ります。引き取りにはレースナンバーが必要です。
- レースに関係ない荷物類は善防公民館多目的ホール(体育館)に置くことができます。預かりではありません。各自の管理になります。
- 大会当日バイクショップによるメカニックサービスを実施します。

用語について

(DNF) Do Not Finish リタイア（フィニッシュしなかった）の略語

(DSQ) disqualified（ディスクォリファイド）失格の略語

パラトライアスロンでの追加事項

- 障がいクラス分けは、自己申告により PTWC1・2、PTS2、PTS3、PTS4、PTS5、PTVI1・2 の 9 区分とします。
- ハンドラー等による支援は、規定に従い障がい程度に応じた支援が可能としますが、基本的にサポートは選手側でご用意して頂きます。その他のサポート希望等があればその内容を事前に大会事務局までご連絡ください。受入れ体制状況に応じて事務局が参加の可否を決定します。お問合せ時には、「パラトライアスロンの参加について」をご利用ください。

プレトランジション

- 入水・退水口付近にプレトランジションを設けます。
- プレトランジションからトランジション（善防中学校グラウンド）までは約 350m の距離があります。
- 希望する選手には、入・退水(SEA)の大会側ハンドラーによる支援と、義足、クラッチ等の装具置き場と、椅子を設置します。また、車椅子による移動を大会側ハンドラーが支援します。
その他 PTVI(視覚障がい)の選手には、椅子の設置と、希望によりランシューズの設置を許可します。

バイク競技

- PTWC のハンドサイクル、車椅子レーサーは、乗車ライン及び降車ラインの手前で一時停止をし、審判員の「Go」指示で再スタートして下さい。
- 全競技クラスでドラフティング走行は禁止します。PTWC の車椅子レーサーもドラフティング禁止です。

トランジションエリア

- PTWC 選手は、ハンドサイクル、車椅子レーサーおよび一般車椅子用のスペースと装具置き場を設置します。
- PTS2 - PTS5 の選手は、1 台分のバイクラックと、装具置き場、および椅子を設置します。
- PTVI 選手は、選手用とガイド用の 2 名分の個人スペースとタンデムバイク 1 台分のバイクラック、および椅子を設置します。

ラン競技

- PTWC 車椅子レーサー使用の選手は、ラン競技でもバイクコースを走行してください。
トランジションを出てから、校門(幹線)を右折してバイクコースを 2.5km 先の最初の右折地点（柏原建設付近）で折り返し、(クオレ(株) 物流センター付近)で再び折り返し、善防公民館駐車場入口までの 1 周 5.2km です。
フィニッシュは、公民館駐車場入口を右折して、公民館玄関前のフィニッシュゲートに向かってください。
- PTWC 車椅子レーサー使用の選手のフィニッシュは、規定では車椅子レーサーの前輪軸が通過した時となりますが、アンクルバンドで計測を行いますので、アンクルバンドが計測マットを通過した時刻がフィニッシュとして記録されます。フィニッシュライン上では停止をせず、通過してください。
- PTWC 車椅子レーサーも他の車両へのドラフティング禁止です。
- PTS2-PTS5 の選手は、障がいの内容により規定の義足、クラッチ等の装具、補助具を使用できます。
ランブレードも使用可能とします。

大会保険内容の適用について

保険内容

大会参加者が競技中^{※1}に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体に被った傷害（いわゆるケガ）、細菌性食中毒等の疾病が、保険金の支払いの対象となります。

※1 競技中とは、9月25日（日）5時から17時までの期間とします。

保険金をお支払できない事項

- 急性虚血性心疾患（心筋梗塞）、急性心不全等の心臓疾患、くも膜下出血、脳内出血等の急性虚血性脳疾患、低体温症などの疾病又は心神喪失によるケガ
（各自加入の生命保険にて対応してください）
- 故意又は重大な過失によるケガ
- 地震、噴火、津波によるケガ
- 自殺行為、犯罪行為又は闘争行為によるケガ
- 医学的他覚所見のないむちうち症又は腰痛
- 保険期間が始まる前に発病している疾病と因果関係がある場合
- 選手が使用するバイクの損害、その他選手が有する財産に対する損害
- 酒気を帯びた状態での運転または麻薬等により正常な運転ができないおそれがある状態での運転
- 妊娠、出産、早産または流産
- 戦争、外国の武力行使、暴動（テロ行為を除く）、核燃料物質等によるもの
- 外科的手術その他の医療措置

保険金額

- 死亡・後遺症傷害保険金額：事故日から180日以内に死亡又は後遺障害が生じたときは最高1,500万円を支払います。
- 入院保険金：事故日を含めて180日以内の入院日数に対し、入院1日につき5,000円を支払います。
ただし、180日を限度。
- 通院保険金：事故日を含めて180日以内の通院日数に対し、通院1日につき2,500円を支払います。
ただし90日を限度。入院保険金をお支払いすべき期間中の通院に対しては通院保険金をお支払いしません。

重要注意事項

- 病院等で受診の場合、初診料を含め治療費は本人の自己負担となります。
- この保険は、治療にかかる実費とは無関係に、上記の保険金の定額で支払われます。また、軽度のケガであっても、必ず大会本部に事故の内容を報告してください。
- 大会当日に届け出がない場合、保険金請求ができませんので、ご注意ください。

保険金請求の方法

- 保険金は、ケガが治癒した後、保険会社所定の書類を添えて保険会社宛てに請求してください。